

## 平成 26 年度学校経営計画表

## 1 学校の現況

|           |        |     |          |    |      |    |       |      |              |    |             |       |       |        |       |   |   |    |
|-----------|--------|-----|----------|----|------|----|-------|------|--------------|----|-------------|-------|-------|--------|-------|---|---|----|
| 学校番号      | 55     | 学校名 | 県立中央高等学校 |    |      |    |       | 課程   | 全日制          |    |             | 学校長名  | 森田 浩一 |        |       |   |   |    |
| 教頭名       | 深谷 浩一  |     |          |    |      |    |       |      |              |    | 事務(室)長名     | 桧山 信久 |       |        |       |   |   |    |
| 教職員数      | 教諭     | 34  | 養護教諭     | 1  | 常勤講師 | 2  | 非常勤講師 | 5    | 実習教諭<br>実習講師 | 1  | 外国語<br>指導助手 | 1     | 事務職員  | 3      | 技術職員等 | 3 | 計 | 53 |
| 生徒数       | 学科・コース |     | 1年       |    | クラス数 | 2年 |       | クラス数 | 3年           |    | クラス数        | 生徒数合計 |       | 合計クラス数 |       |   |   |    |
|           |        |     | 男        | 女  |      | 男  | 女     |      | 男            | 女  |             | 男     | 女     |        |       |   |   |    |
|           | 普通     |     | 65       | 95 | 4    | 56 | 100   | 4    | 60           | 88 | 4           | 181   | 283   | 12     |       |   |   |    |
| (普)スポーツ科学 |        | 28  | 12       | 1  | 33   | 6  | 1     | 26   | 11           | 1  | 87          | 29    | 3     |        |       |   |   |    |

## 2 目指す学校像

- ・地域の進学校として、地域住民や中学校から信頼される学校（きめ細かな学習指導・進路指導を行い、生徒の希望進路の実現を図る。）
- ・自律ある行動ができる生徒の育成に努め、明るい学校（生活の基礎である基本的な生活習慣を身に付けさせる。）
- ・心のふれあいを大切にできる学校（魅力ある特別活動と部活動の推進を図る。）

## 3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目   | 現状分析   | 課題   |
|------|--|--|
| 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習集団に学習意欲の低い生徒が混在しているため、授業や考査の内容において意欲の高い生徒を伸ばしきれていない。</li> <li>・地域の進学校としては実力考査における主要三教科の実施時間が不足している。</li> <li>・土曜課外への参加生徒数が増加し、各学年 20～40%を占めている。</li> <li>・校外模擬試験において偏差値 50（全国平均）を超える生徒が成績上位層でもまだまだ少数である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の高い生徒のニーズに応える授業内容・指導法の工夫改善</li> <li>・実力考査における主要三教科実施時間の 80 分化</li> <li>・校内での学習に加えて、家庭での学習時間の向上</li> <li>・成績上位層生徒の育成とともに大学進学希望の成績中位層生徒への指導の充実</li> </ul>  |
| 進路指導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年連続で国公立大学 10 名合格、茨城高専への編入 1 名、公務員合格 6 名、就職内定 100%と前年の数字を上回ることができた。</li> <li>・国公立大学への合格はすべて推薦入試によるもので一般入試での合格者がいない。</li> <li>・中堅私大（日東駒専クラス）の合格者が少数である。</li> <li>・より高い進路希望の実現のために3カ年にわたる進路指導計画表を作成した。</li> <li>・家庭学習をほとんどしない生徒が全体の3割以上いる。</li> <li>・安易な進路選択をしてしまう生徒がいる。</li> <li>・まだまだ大学への志願者が少ない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学校としての地位の確立(地域の認識)</li> <li>・高い進路希望の実現（3年連続国公立大学二桁合格,大学への一般受験者の増加,中堅私大への合格者の増加,1,2年次からの意識の高揚と家庭学習の定着)</li> <li>・進路指導計画表に沿った計画的な進路指導の充実</li> <li>・大学進学希望者の増加(入学時より)</li> <li>・1,2年生の特進クラスの学習,進路指導方法の模索と確立</li> </ul> |

| 項目      | 現 状 分 析   | 課 題  |
|---------|---|--|
| 特 別 活 動 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事充実への生徒の期待感が高まっている。</li> <li>・スクールバス制度に支えられ、65%の生徒が放課後の部活動に取り組んでいる。</li> <li>・生徒会役員が各種説明会での生徒代表として大きく貢献している。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の充実（文化祭、クラスマッチ）</li> <li>・活発な生徒会活動の展開</li> <li>・部活動の活性化と強化</li> </ul>  |
| 生 徒 指 導 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつや言葉遣いなど先生方や来校者など目上の人に対し、礼儀正しくできている生徒は約80%である。</li> <li>・頭髪や服装など校則について、ほとんどの生徒は順守しているが、約10%の生徒に襟元の乱れがみられる。</li> <li>・遅刻など基本的な生活習慣が身につけていない生徒が10名程いる。</li> <li>・自転車通学者の約5%は、道交法を違反して傘さし運転などで指導を受ける生徒がいる。</li> <li>・内規の解釈や生徒への指導について、特に段階的指導に対してさらなる教職員の共通理解が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎内外の巡回指導や登校指導をとおして生徒の実態をより把握し、今後の指導に生かす。</li> <li>・担任による面談指導をとおして、マナーやルールを主体的に順守できる精神の向上を図る。</li> <li>・教職員間の指導基準を再確認し、一部の職員に過度な負担がかからない全職員による生徒指導の徹底を図る。</li> </ul> |

#### 4 中期的目標

|  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化した生徒の学習意欲を喚起するための教育内容・教育方法の充実を図る。</li> <li>・生徒の進路希望を実現するために、課外指導等の充実を図り、きめ細かな進路指導を行う。</li> <li>・生徒指導の一層の充実を図り、規律正しい行動ができる生徒の育成に努め、明るい学校作りを目指す。</li> <li>・心の問題を抱える生徒が多くなっている現状を重視し、個人面談・教育相談体制の充実を図る。</li> <li>・活力ある学校づくりのために、部活動の充実と強化を図る。</li> <li>・明るく楽しい学校生活になるようホームルーム活動、生徒会活動、クラスマッチ、蒼星祭等の内容の充実を図る。</li> </ul> |
|--|

#### 5 本年度の重点目標

| 重点項目  | 重点目標   |
|---|--|
| 1 授業内容の充実と評価の工夫                               | (1) わかる授業の展開及び成績中位・上位層の生徒の学力向上を目指した指導の工夫<br>(2) 学習意欲を高めるための考査の充実<br>(3) 家庭学習の習慣化<br>(4) 観点別学習状況による評価への取り組みの徹底  |
| 2 進路指導における中央メソッドの具体的運用と確立（国公立大合格20名、就職内定100%） | (1) 課外指導の拡充と学力の向上<br>(2) 進路指導計画表に沿った3カ年にわたる系統立てた進路指導の実践<br>(3) キャリア教育と進路ガイダンスの内容の充実<br>(4) 面接指導の充実             |
| 3 HR活動や学校行事への自主的な参加促進並びに部活動の充実と結果の広報          | (1) 集団の一員としてホームルーム活動や学校行事（文化祭）に自主的に参加する態度を育てる。<br>(2) 部活動の様子や活躍をHP及び中央だよりに定期的に掲載し、PRを図る。                       |
| 4 生徒指導における全職員による自律を促す段階的指導の充実                 | (1) 頭髪・服装・挨拶・言葉遣いなども含めた基本的な生活習慣の確立・定着を図る。<br>(2) 毎日の授業への心構えと安全・安心な生活環境の充実を図る。<br>(3) 生徒理解を深めるために教育相談等の有効活用を図る。 |